

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します

新＝新規事業、拡＝拡充事業（事業名の頭に標記）

地域おこし協力隊事業 4, 666万円

（担当：市民協働課市民協働男女参画係、企画課企画政策係、定住戦略室定住戦略係、産業戦略課商工振興係、ジオパーク推進室ジオパーク推進係）

都市部から地域おこしに意欲がある人材を迎え入れ、4つの業務それぞれにおいて、地域の方々とともに地域活性化に向けた活動を行いました。

事業名(隊員数)

- 栗駒山麓ジオパーク推進業務（6名）
- ”くりでん”に関する業務（2名）
- 花山地区小さな拠点づくり推進及び移住定住推進業務（2名）
- 栗駒地区「六日町通り商店街 シャッター開ける人！」（2名）

くりでん資産の
確認作業を行う隊員



住民自治活動推進・活動助成事業

9, 144万円

（担当：市民協働課市民協働男女参画係）

地域コミュニティ組織（自治会、コミュニティ推進協議会）の自立的なコミュニティ活動を支援するため、栗原市コミュニティ組織一括交付金を交付しました。

各地域では地域の行事、敬老会、環境整備事業等において、多くの地域住民の参加と創意工夫のもと、コミュニティ活動が行われました。



コミュニティ組織主催の敬老会

(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します

地域集会施設新築改築修繕事業

1億1, 937万円

（担当：市民協働課市民協働男女参画係）

地域住民の自主的なコミュニティ活動を積極的に推進するため、その活動の拠点となる集会施設の改築（6棟）・修繕等（14棟）の整備に対し、一定の基準により助成を行いました。



一迫保呂会館（改築）



【屋根塗装補修前】



【屋根塗装補修後】

金成上町集会所（補修）

5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」

(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に表記)

各種証明書等コンビニ交付サービス事業

4, 331万円

(担当：市民課市民係)

個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して全国のコンビニエンスストアにおいて各種証明書等が取得できるシステムを導入し、市民サービスの向上を図りました。

取得できる証明書

- ①住民票の写し（除票を除く）
- ②印鑑登録証明書
- ③戸籍謄本・抄本（除籍を除く）
- ④戸籍の附票の写し（除票を除く）
- ⑤所得課税証明書（現年度分）



コンビニ交付システムの画面表示

個人番号カード（マイナンバーカード）は、次の方法で交付手続きができます。

- ①個人番号カード交付申請書を郵送
- ②インターネットによるオンライン申請
- ③各総合支所市民サービス課の窓口

※いずれの場合も交付を希望する方の顔写真が必要となります

※交付までの流れは、地方公共団体情報システム機構の『マイナンバー総合サイト』を確認してください。

6 重点「放射能対策プロジェクト」

放射性物質による不安を解消し、安心して暮らせるまち

原子力災害健康不安対策事業 466万円

(担当：健康推進課健康推進係)

放射性物質への市民の健康不安の払拭を図るため、ホールボディカウンタによる放射性物質内部被ばく線量測定を行いました。

放射性物質測定事業 5,461万円

(担当：農林畜産課農産園芸係、環境課生活環境係、学校教育課学務係)

放射能に対する不安を払拭するため、農産物や学校給食、ごみ処理施設等の放射線量を測定しました。

放射性物質吸収抑制対策事業

5,527万円

(担当：農林畜産課農産園芸係)

農家が安心して生産に取り組める体制を構築するため、放射性物質の吸収抑制対策として、「塩化カリ」の農家への配布を支援しました。

○塩化カリ配布

- 水稲：2,667ha（10kg/10a）
大豆：906ha（40kg/10a）
そば：19ha（40kg/10a）



塩化カリの散布作業の様子

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

=新規事業、=拡充事業（事業名の頭に標記）

一般介護予防事業 898万円 (介護保険特別会計)

(担当：介護福祉課認定調査係)

住民自ら筋力アップ・認知症予防などの介護予防に取り組めるよう DVD を見ながら行う「くりはら元気アップ体操」の普及や認知症予防プログラムを学ぶための支援を行いました。(体操の取組団体：56団体)



くりはら元気アップ体操交流会の様子

包括的支援事業 1億2,839万円 (介護保険特別会計)

(担当：介護福祉課認定調査係)

市内5か所に地域包括支援センターを設置し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護・福祉・保健・医療に関する総合的な相談や支援、必要なサービスの調整を行いました。

また、センターでは保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士などの専門職を配置し、それぞれの専門性を生かしながら、市民の身近な相談機関として支援を行いました。

水道事業将来構想等策定事業 (水道事業会計)

880万円

(担当：水道課施設係)

中長期的な視点に立ち、水道事業を効率的かつ効果的に管理運営するため、平成30年度完了に向けアセットマネジメント(資産管理)の策定を行っています。

水道施設整備事業 1億8,133万円 (水道事業会計)

【H30年度への繰越額 9,241万円】

(担当：水道課施設係)

水道水の安定供給や災害時の備えを目的として、古くなった水道本管やその他の水道施設の整備工事を行いました。

また、下水道・河川改修等の工事に伴う水道管の布設替工事を行いました。

公共下水道未普及解消事業 (下水道事業特別会計) 3億8,982万円

【H30年度への繰越額 1億6,118万円】

(担当：下水道課施設整備係)

湖沼や水路など自然環境を守り、生活の快適性向上を目的に、汚水を処理する管路や施設等を整備しました。

〈事業内容〉

下水道管渠布設工事	L=3,335m
舗装本復旧工事	A=3,188㎡
公共ます設置	73か所

公共下水道事業 (下水道事業特別会計)

2億7,188万円

【H30年度への繰越額 4,503万円】

(担当：下水道課施設整備係・施設管理係)

花山浄化センターを廃止し、流域下水道へ接続し切り替えることにより、下水道施設の効率化を図りました。

また、下水道施設の老朽化などによる機器の故障や機能停止、事故の発生を未然に防止するために、機器などのオーバーホールや延命化を図り、効率的な施設管理を行いました。

7 特別会計・事業会計決算の主な事業

=新規事業、=拡充事業 （事業名の頭に標記）

合併処理浄化槽事業（市設置型・個人設置型） （合併処理浄化槽事業特別会計）

1億3,180万円



合併処理浄化槽設置工事の様子

（担当：下水道課施設整備係・総務管理係）
公共下水道事業・農業集落排水事業が計画されていない区域を対象に、申請に基づき浄化槽の設置を行いました。（市設置型）

設置基数：124基

また、公共下水道事業の計画区域内で、下水道が当分の間整備されない区域について、個人が設置する浄化槽に対して、設置費用の一部を助成しました。（個人設置型）

設置基数：5基

医療機器整備事業 3億6,443万円 （病院事業会計）

（担当：医療管理課経営管理係）

医療の充実とサービス向上を図るため、市立3病院の医療機器の更新等を行いました。



更新したデジタルX線TVシステム（栗原中央病院）

花山診療所改築事業 1億3,250万円 （診療所特別会計）

（担当：医療管理課総務係）

安全な診療環境を整備し、地区住民の医療を継続するため、花山診療所の改築工事を行いました。



完成した花山診療所

栗原中央病院駐車場整備事業 （病院事業会計）

6,299万円

（担当：医療管理課経営管理係）

宮城県立循環器・呼吸器病センターの医療機能移管に伴い、患者並びに医療スタッフの増加が見込まれることから、栗原中央病院駐車場の整備を行いました。



栗原中央病院西側に整備した駐車場